

よくわかる決算書

令和6年度 下水道事業会計

下水道事業のいまと未来！

岡崎市上下水道局

収益的収支と資本的収支とは？？

子どもデザインマンホールふた 優秀作品



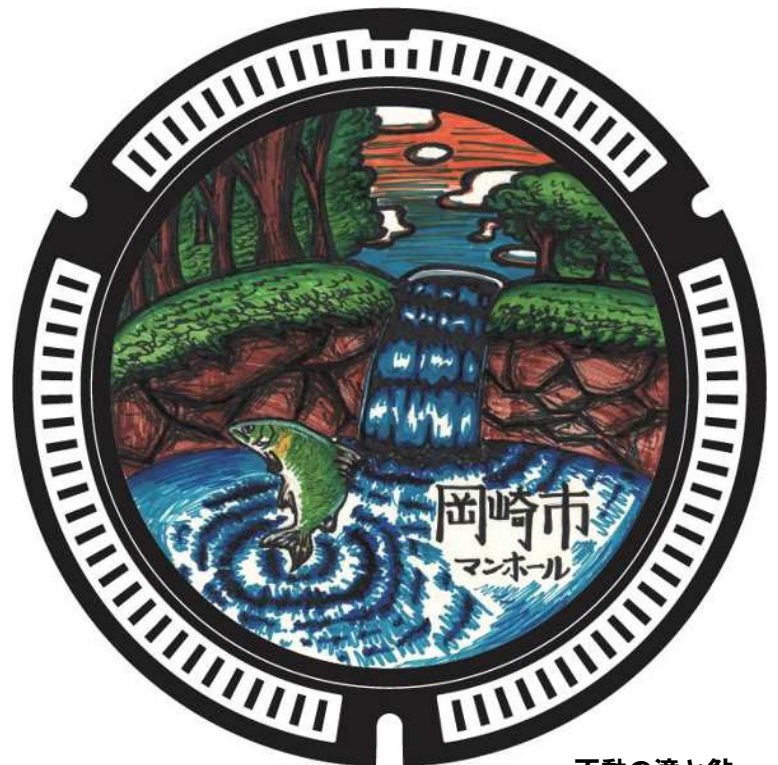
とことこハクセキレイ



みそだるだいこ



月夜と蛍と岡崎城



不動の滝と鮎

農集事業企業会計化！

令和6年度の決算を解説します！！

目次

1 決算書とは？	1
まずは、財務三表それぞれの役割について説明するよ！	2
2 経営成績はどうだったの？	3
下水道事業の状況を見てみよう！	3
損益計算書の「収入」を見てみよう！	4
次に損益計算書の「支出」を見てみよう！	5
「減価償却費」と「長期前受金戻入」を知ろう！	6
損益計算書の「収入」から「支出」を引いてみよう！	7
「資本的支出」(＝損益計算書に載らない「支出」)を見てみよう！	8
「資本的収入」(＝損益計算書に載らない「収入」)を見てみよう！	9
「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう！	10
まとめ	11
3 「補てん財源」の推移を見てみよう！	12
4 下水道事業が置かれている状況を見てみよう！	13
5 財務三表の解説.....	15
【図解】損益計算書.....	15
【図解】貸借対照表.....	16
【図解】キャッシュ・フロー計算書.....	17
よくわかる決算書 用語解説	18

1 ^{けっさんしょ}決算書とは？

岡崎市下水道事業では平成 24 年度から^{こうえいきぎょうかいけい}公営企業会計を導入しています。

（令和 6 年度より農業集落排水事業においても公営企業会計を導入しました。）

公営企業会計では民間企業のように^{ふくしき ぼ き}複式簿記を使って記帳を行います。
その記帳の内容を取りまとめたものが「決算書」になります。

決算書は、4 月 1 日から翌年の 3 月 31 日までの 1 年間の経営成績と
財政状況について、^{そんえきけいさんしょ}損益計算書、^{たいしゃくたいしょうひょう}貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書
(^{ざいむさんびょう}財務三表と呼ばれます。)などの決算書類で報告しています。

ただ、この書類は初めて見る人には少し難しい内容です。

そのため、使用者のみなさんに決算書に書かれていることを分かりやすく
お伝えし、岡崎市の下水道事業がどのような状況なのかを
知っていただけるよう決算書の概要版を作成しました。

決算書を見てみたけど、難しくて
よくわからなかったよ～。



岡崎市上下水道局マスコットキャラクター
スイートちゃん



岡崎市上下水道局マスコットキャラクター
スイートくん

ぼくが決算書をわかりやすく解説するよ！

まずは、財務三表それぞれの役割について説明するよ！



損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書を
合わせて「財務三表」と呼ぶんだ。

それぞれ役割があり、下水道事業の経営状況が分かるよ！

「儲かったか」が分かるってこと？



「儲かったか」も分かるね！

その他にも「現金を増やすことができたか」や
「下水道管などの資産がどれくらいあるか」も分かるんだ。

「儲かった」と「現金が増えた」は違うの？



実はその2つは違うんだ！
この「よくわかる決算書」でその違いを説明していくよ。

まずは、財務三表それぞれの役割を覚えよう！

損益計算書は「儲かったか」
貸借対照表は「資産、負債、資本の状況」
キャッシュ・フロー計算書は「現金が増えたか」

を表す書類なんだ。

次のページから損益計算書を中心に
下水道事業の経営状況について解説していくね！



2 経営成績はどうだったの？

下水道事業の状況を見てみよう！

1 下水道の接続件数

項目	令和6年度	令和5年度	前年度からの増減
接続戸数（戸）（公共）	150,197	148,086	2,111
接続人口（人）（公共）	331,151	330,158	993
接続戸数（戸）（農集）	2,353	2,356	-3
接続人口（人）（農集）	7,042	7,098	-56



「接続戸数」は、下水道を使用している家の数のことで、公共は前年度から2,111戸増えて、農集は3戸減っているね！

「接続人口」は、下水道を利用している人の数のことで、公共は前年度から993人増えて、農集は56人減っているよ。

岡崎市の人口は減少しているけど、都市部の下水道の整備は続いているから、公共の接続は増えているんだよ！

2 下水道の処理水量

項目	令和6年度	令和5年度	前年度からの増減
総汚水処理水量（m ³ ）	36,501,444	36,009,432	492,012



「総汚水処理水量」は、処理場できれいに処理された汚水のことだよ！

前年度と比べて492,012m³増えているね。

3 令和6年度決算の特徴

項目	令和6年度	令和5年度	前年度からの増減
純利益	-1.5	1.6	-3.1
げんかしょうきやくひ 減価償却費	54.7	51.3	3.4
しよりじょうひ 処理場費	1.2	0.0	1.2

（億円）



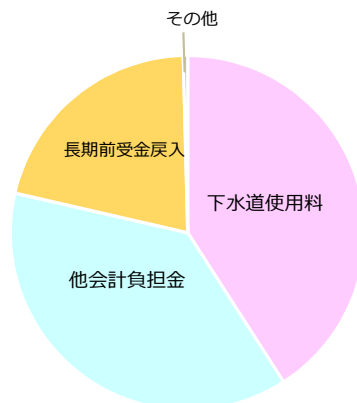
下水道事業の1年間の儲けを「純利益」と言うんだ！今年度は入ってくるお金よりも出ていくお金の方が多かったから、儲けがマイナスになっているね。

物価が高くなったこと、減価償却費が増えていること、農集統合による費用の増加などが原因の一つだよ。

損益計算書の「収入」を見てみよう！

収益的収入(損益計算書) (税抜)

内 容	金額 (円)
下水道使用料収入	3,888,787,248
他会計負担金	3,589,633,777
長期前受金戻入	1,993,608,883
その他	37,513,447
合 計	9,509,543,355



収入の割合



下水道事業は、
みんなにお支払いいただく「下水道使用料」で経営しているよ！

そうだったんだね！

収入には、その他にも
「他会計負担金」や「長期前受金戻入」とあるね。
これは何のこと？



よく気が付いたね！

まず「他会計負担金」から説明するね。

下水道管には、みんなの家から流れてくる「汚水」と
雨が降って地面にたまった「雨水」が流れているんだ。

「汚水」を流すためのお金は、下水道を使った人が支払って
「雨水」を流すためのお金は、岡崎市の税金で支払われているよ。

「雨水」を流すための施設は下水道事業(下水道事業は岡崎市
から独立している)が管理しているから、岡崎市から下水道事業へ
お金が支払われるんだ。これが「他会計負担金」だよ。

「長期前受金戻入」は少し難しいから、あとで説明するね！



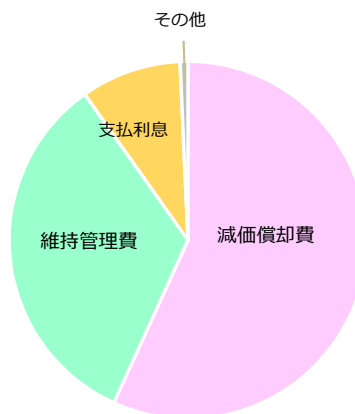
次に損益計算書の「支出」を見てみよう！

収益的支出（損益計算書）（税抜）

内容	金額（円）
げんかしょうきやくひ 減価償却費（※）	5,492,256,714
いじかんりひ 維持管理費	3,224,755,018
しはらいりそく 支払利息	878,436,159
その他	67,432,627
合 計	9,662,880,518

※ここでの減価償却費には

固定資産の価値を減らす費用を広く含めているため、
損益計算書上の数値とは一致しません。



支出の割合

「維持管理費」ってどんな費用なの？



「維持管理費」には、汚水をきれいにする処理場にかかる費用、みんなの家から処理場へ汚水を送るポンプ場の電気代・薬品費、下水道の仕事をしている職員の給料などが含まれているよ。

さらに、下水道管の点検や調査にかかる費用や、施設の修繕にかかる費用も含まれていて、安心安全な下水道の維持につながっているよ！



それじゃあ「支払利息」って何の利息のこと？



施設を作るときに借りたお金に対する利息のことだよ！



もう1つの「減価償却費」って何？



「減価償却費」は、前のページで出てきた「長期前受金戻入」とセットで考えると分かりやすいから、次のページで説明するね！



「減価償却費」と「長期前受金戻入」を知ろう！



損益計算書には、**1年間にかかった費用**を載せるという決まりがあるよ！

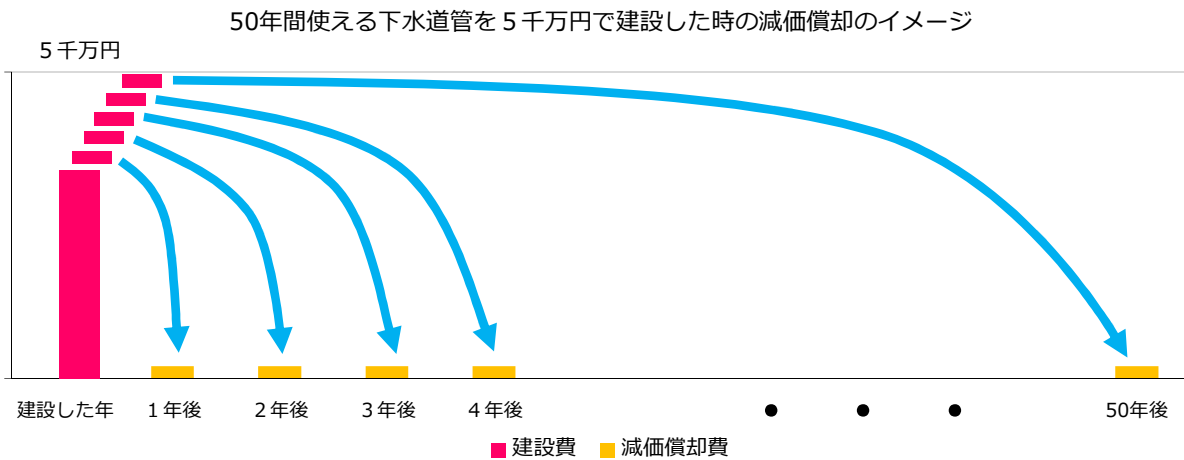
下水道管などの施設は長い間使えるよね。

だから、作った年にかかったお金すべてを費用とはせずに、その施設が使える年数で少しずつ費用にしていくんだ。

これを「減価償却費」というんだよ。

作った年に現金の支払いは済んでいるんだけど、全部が費用になるのは、ずーっと先になるんだ。

減価償却費のイメージを見てみよう！



建設した年に5千万円を支払っているけど、損益計算書には50年かけて少しずつ費用として載せているんだね！

つまり、その年に現金で支払ったものが全て損益計算書に載っているわけではないんだ。

じゃあ「長期前受金戻入」ってどんなものなの？



「長期前受金戻入」は、この収益バージョンだね。

下水道事業では国からの補助金などを施設の建設費用に充てているんだけど、その補助金なども施設が使える年数にあわせて収益にしていくんだ！



この2つは、この後の話でも出てくるから覚えておいてね。

次に損益計算書の「収入」から「支出」を引いて分かることを説明していくよ！

損益計算書の「収入」から「支出」を引いてみよう！

収入－支出＝純利益（純損失）

-153,337,163円



約1億5千万円のマイナスだね。

収入から支出を引いたものが
プラスだと「純利益」、マイナスだと「純損失」と呼ぶよ。
黒字、赤字って言うと分かりやすいかな？

損益計算書から分かることは、下水道事業が黒字だったか、赤字だったかってことなんだ。



今年は約1億5千万円の赤字、つまり純損失が出たってことだね。

かなり苦しい状況だね……。
さらに下水道事業には損益計算書に載っていない「支出」もあるんだよ。



さっき、損益計算書の支出と収入を見たけどあれで全部じゃないんだね！

それってもしかして、「減価償却費」や「長期前受金戻入」と関係しているの？



するどいね！
下水道管の建設費のように、実際に現金の支出や収入をしても、
損益計算書に載らない項目があるんだ。

そういった支出や収入もしっかりと把握する必要があるよ！

こういった今年に支出や収入をしているんだけど、
性質上、損益計算書に載らないものをそれぞれ、
「資本的支出」と「資本的収入」というんだ。

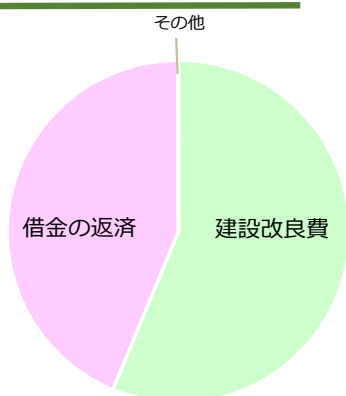


「資本的支出」と「資本的収入」について詳しく教えて！



「資本的支出」(＝損益計算書に載らない「支出」)を見てみよう！

資本的支出 (税抜)	
内 容	金額 (円)
建設改良費	5,552,399,962
借金の返済	4,313,492,423
その他	2,020,000
合 計	9,867,912,385



資本的支出の割合



「建設改良費」は施設の建設費のことだよ。

他には、施設を建設するときに借りた借金を返すお金も損益計算書には載っていないよ。

下水道事業は、建設改良費の多くを借金でまかなっていて、そのために借りた借金を返すお金も多く、水道事業に比べて、資本的支出に占める「借金の返済」の割合が大きいんだよ！

損益計算書に載っていない支出が約98億円もあるんだね…。

まさか損益計算書に載らない「支出」がこんなに大きいとは思ってなかったよ！



下水道事業は施設の建設や更新が多いから、「資本的支出」がとても大きいんだ！

だから損益計算書に載らない支出もしっかり見ないといけないよ。



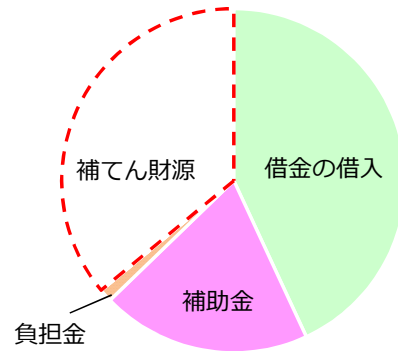
施設の建設費などが損益計算書の支出として載っていないように、

損益計算書に載っていない収入「資本的収入」についても次のページで見ていこう！

「^{しほんてきしゅうにゅう}資本的収入」(＝損益計算書に載らない「収入」)を見てみよう！

資本的収入 (税抜)	
内 容	金額 (円)
借金の借入	4,182,900,000
補助金等 (※)	2,070,973,852
負担金 (※)	118,305,070
その他	2,388,000
合 計	6,374,566,922

※消費税の計算上生じる雑支出相当額を引いておりますので
決算書の数値と一致しません。



資本的収入の割合

※補てん財源は次からのページで説明します。



借金の借入も損益計算書に載らないよ。

前のページでも説明したように、下水道事業は建設改良費の多くを借金でまかなっているから、資本的収入に占める「借金の借入」の割合が大きいんだ！

次に金額の大きい「補助金」は、施設を建設するときに国からもらっているお金のことだよ！

国からの「補助金」ってことは、税金が投入されているってこと？



するどいね！「補助金」は税金のことだよ！

地震や浸水のような自然災害への対策はたくさんお金が必要だから、税金をもらってその費用をまかなっているよ。

岡崎市では、古くなった下水道管を新しくして地震に耐えられるようにしたり、

雨水を流す管を新しく作って浸水を防いだりする対策をしているよ！



「負担金」についても教えて！



「負担金」には、下水道を新しく整備した地区に土地を持っている人からもらう「受益者負担金」などが含まれているよ！

最後に損益計算書で「収入」から「支出」を引いて、純利益(純損失)を計算したみたいにご「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう！



「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう！

収入－支出（施設の建設）	-3,493,345,463円
--------------	-----------------

約34億9千万円の赤字！？
いったいどうやって施設の建設をしているの...？



この赤字分は損益計算書の「収入」で補わなくちゃいけないんだ。



損益計算書の「収入」で補えるの？

たしか損益計算書の収入は維持管理費や減価償却費などの
「支出」を引いて、1億5千万円のマイナスだったよね。



そのとおり！よく覚えていたね。
ここで関係するのが「減価償却費」と「長期前受金戻入」だよ。

この2つは最初の年にお金のやり取りをしているから、
翌年以降は実際のお金のやり取りが発生していない費用と収益
だったよね。

損益計算書で純利益（純損失）を算出するときは、収入から支出
である「減価償却費」を引いていたけど、実際には最初の年以外で
減価償却費のお金の支払いは行われていないから、その分のお金は
手元に残っていることになるよ。

反対に損益計算書における「長期前受金戻入」は、最初の年に
もらった補助金を施設の使える年数にあわせて収益として計上
しているだけだから、1年のお金の動きを考えると、その分
のお金は収益から引かないといけないんだ。



「減価償却費」は、最初の年に支払った「建設費」の
うちの今年度分を計上しているだけだから、実際には
お金の支払いはないってことね。

だからこのお金は、「資本的収入－資本的支出」の赤字
を埋めるのに使えるんだね。



まとめ



では、実際に補えるのか計算してみよう！

資本的収入－資本的支出の赤字は 約34億9千万円

損益計算書上の純損益(赤字額)は 約1億5千万円

損益計算書で支出計上したが、
手元に残っているお金(減価償却費分)は 約54億9千万円

損益計算書で収入計上したが、
使えないお金(長期前受金戻入分)は 約20億円

全てを足し引きすると下の計算式のようなよ。

資本的収入－資本的支出		-3,493,345,463 円
損益計算書上の純利益(黒字額)		-153,337,163 円
減価償却費	+	5,492,256,714 円
長期前受金戻入分	-	1,993,608,883 円
		-148,034,795 円

今年は約1億5千万円のマイナスになっているよ。



そうだね。今年は約1億5千万円ほど使えるお金が減ってしまったんだ。

このお金は「補てん財源」と呼ばれているよ。

これまでに生じた利益などは「補てん財源」として管理されていて、
今年みたいに赤字が出たときや今後の建設費に使えるお金になるんだよ。

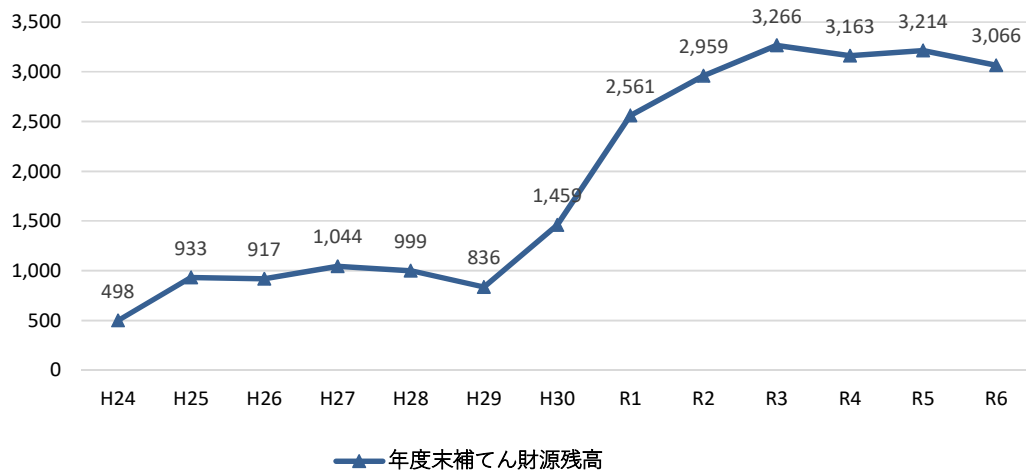
損益計算書で黒字だから安心っていうことではなくて、
「資本的収入」と「資本的支出」の結果も見ないといけないんだね。
ところで岡崎市の補てん財源って今どれぐらいあるの？



3 補てん財源の推移を見てみよう！

(百万円)

補てん財源推移



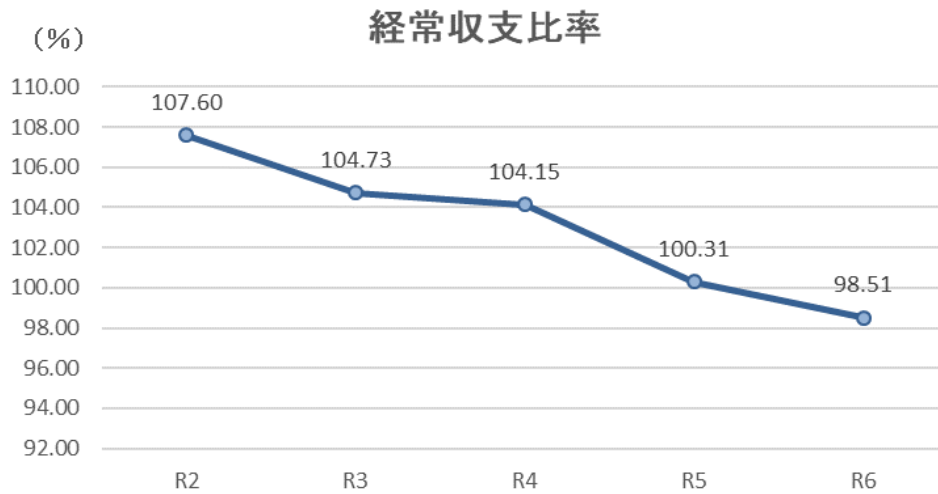
今は30億円ぐらい「補てん財源」があるんだね！
水道事業の約105億円と比べると少ないね．．．



下水道事業は平成24年から企業会計を導入しているから、
補てん財源をたくわえ始めて、12年しか経っていないんだ。
下水道事業が置かれている状況をもう少し見てみよう！



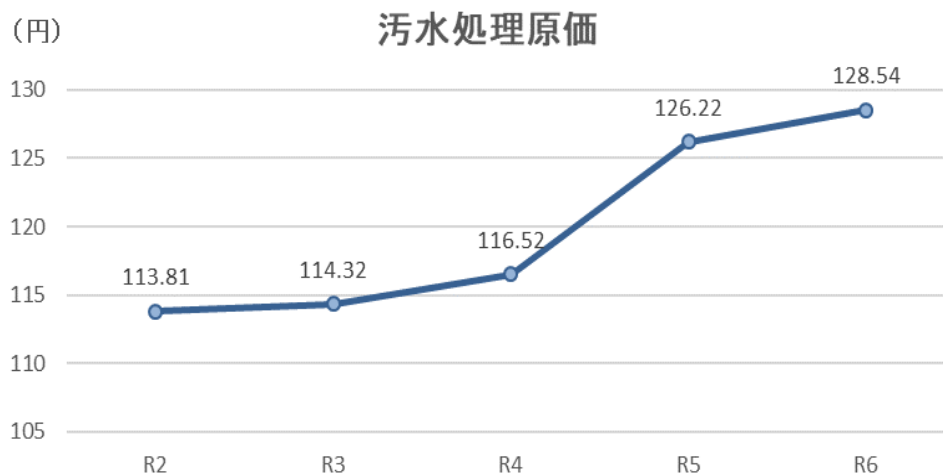
4 下水道事業が置かれている状況を見てみよう！



けいじょうしゅうしひりつ

経常収支比率は、財政構造の健全性を表す指標だよ！

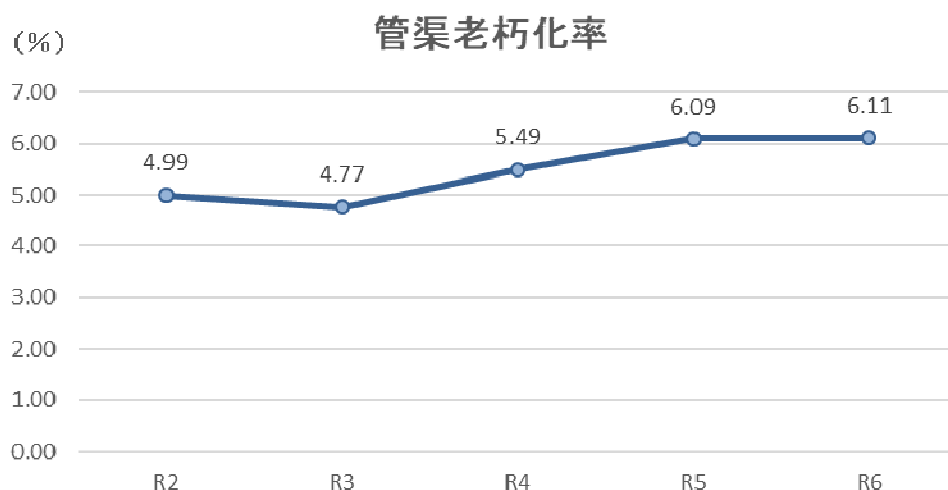
令和5年度までは100%以上だったんだけど、
令和6年度は100%を下回り、
赤字決算になってしまったんだ。



おすいしゅりげんか

汚水処理原価は、
下水道使用料収入の対象になった汚水1m³あたり
どれくらいの費用がかかったのかを表す指標だよ！
物価の高騰などの影響で年々増加しているね...





かんきょうきゅうかりつ

管渠老朽化率は、現在整備されている下水道管全体のうち法定耐用年数を経過した管がどれくらいあるかを表す指標だよ！

老朽化率は徐々に増加しているけれど、下水道事業は平成5年ごろから加速的に整備が進んだから、更新が必要な管はあまりないよ。

でも、これからの更新のピークに備えておく必要はあるね。



ここまでの指標をみて、
下水道事業は苦しい経営状態だとわかったよ。

私たちが安心して下水道を使えるように、
経営の管理をしっかりとお願いしますね！



5 財務三表の解説①

【図解】損益計算書(決算書P.72～73)

損益計算書は、ある一定期間における企業の経営成績を明らかにするため、その期間中に得たすべての収益、これに対応するすべての費用、最終的な損益を記載する報告書です。

★損益計算書から分かること

損益計算書からは、どのような経営活動によって、どれだけの経営成績を上げたかを知り、それに基づいて過去の経営を分析し、また、将来の方針を立てることができます。

次の式で損益を把握するよ！

損益 = 収益 - 費用

プラス → 利益



★注目ポイント

①営業損失

本業による損益が分かる！

下水道事業の本業は、汚水と雨水を排水することです。そのための費用や、みなさんからいただく下水道使用料や、雨水を排水するための費用に対する一般会計からの繰入金等の、主たる営業活動の結果を示しています。

②経常損失

経営活動から生じた損益が分かる！

本業に関する損益に加えて、一般会計からの繰入金による収入のうち営業外収益としたものや、借入金利息の支払い等の資金調達等に関する損益の結果を示しています。

③当年度純損失

最終的な損益が分かる！

1年間のすべての損益の結果を示しています。

令和6年度岡崎市下水道事業損益計算書
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位 円)

1 営業収益			
(1) 下水道使用料	3,888,787,248		
(2) 他会計負担金	2,031,340,182	5,920,127,430 (ア)	
2 営業費用			
(1) 管渠費	615,869,983		
(2) ボンプ場費	395,914,338		
(3) 水質管理費	45,143,963		
(4) 業務費	288,265,720		
(5) 総係費	235,160,277		
(6) 流域下水道管理運営費負担金	1,459,659,715		
(7) 減価償却費	5,469,204,107		
(8) 資産減耗費	90,741,083		
(9) 処理場費	117,052,546	8,717,011,732 (イ)	
営業損失		2,796,884,302 (ウ) = (ア) - (イ)	
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当	966,252		
(2) 他会計負担金	1,558,293,595		
(3) 補助金	18,400,193		
(4) 長期前受金戻入	1,993,608,883		
(5) 引当金戻入益	1,568,728		
(6) 雑収益	12,570,808	3,585,408,459 (エ)	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	878,436,159		
(2) 雑支出	53,904,640	932,340,799 (オ)	
経常損失		2,653,067,660 (カ) = (エ) - (オ)	
5 特別利益			
(1) 固定資産売却益	3,331,182		
(2) 過年度損益修正益	676,284	4,007,466 (ク)	
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	3,074,311		
(2) その他特別損失	10,453,676	13,527,987 (ケ)	
当年度純損失		△ 9,520,521 (コ) = (ク) - (ケ)	
前年度繰越利益剰余金		153,337,163 (サ) = (キ) + (コ)	
その他未処分利益剰余金変動額		0	
当年度未処理欠損金		0	
		153,337,163	

5 財務三表の解説②

令和6年度岡崎市下水道事業貸借対照表

(令和7年3月31日まで)

【図解】貸借対照表（決算書P77～79）

貸借対照表は、年度末時点に企業が所有するすべての資産、負債及び資本を表示する報告書です。

★貸借対照表から分かること

表の左側【資産の部】からは、企業が事業を行うために所有している資産の残高を知ることができます。
表の右側【負債の部】及び【資本の部】からは、資産を取得するためにどのように資金を集めたかを知ることができます。

資産は、性質によって「固定資産」と「流動資産」に分かれています。
区分の仕方は、1年のうちに現金化できるものを「流動資産」、できないものを「固定資産」としています。

この区分のルールを「ワンイヤールール」と呼びます。

★注目ポイント

① 流動比率(%)

$$= \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 = 83.0\%$$

すぐに支払わなければならないお金（流動負債）をすぐに支払えるか（現金等の流動資産がどれくらいあるか）を表します。
200%以上が理想的で、高いほど経営が安定していると言えます。
(参考: R5決算類似団体平均値=115.8%)

② 有形固定資産減価償却率(%)

$$= \text{有形固定資産減価償却累計額} \div \text{有形固定資産のうち償却対象資産} \times 100 = 26.95\%$$

有形固定資産の減価償却がどの程度進んでいるか（その資産をどれくらいの期間使っているか）を表します。
指標が高いほど資産の老朽化度合いが高いと言えます。
(参考: R5決算類似団体平均値=41.3%)

【資産の部】

金額(円)

【負債の部】

金額(円)

固 定 資 産	160,200,034,342	固 定 負 債	60,458,662,341
有 形 固 定 資 産	154,481,782,061	企 業 債	60,328,026,828
土 地	3,158,848,483	引 当 金	130,635,513
建 物	7,335,222,978	流 動 負 債	6,986,081,007
構 築 物	180,173,276,432	企 業 債	4,383,536,206
機 械 及 び 装 置	13,079,464,725	未 払 金	2,461,459,899
車 両 運 搬 具	5,453,704	引 当 金	31,528,000
工 具 器 具 及 び 備 品	20,038,957	そ の 他 流 動 負 債	109,556,902
リ ー ス 資 産	1,046,900	繰 延 収 益	59,254,701,106
減 価 償 却 累 計 額	△ 54,068,571,041	長 期 前 受 金	76,906,432,779
建 設 仮 勘 定	4,777,000,923	収 益 化 累 計 額	△ 17,651,731,673
無 形 固 定 資 産	5,714,533,281	負 債 合 計	126,699,444,454
施 設 利 用 権	5,714,533,281		
投 資 そ の 他 の 資 産	3,719,000		
長 期 貸 付 金	1,679,000		
そ の 他 の 投 資	2,040,000		
流 動 資 産	5,800,972,785		
現 金 預 金	3,652,995,718		
未 収 金	1,937,100,756		
貸 倒 引 当 金	△ 2,774,991		
短 期 貸 付 金	1,981,500		
前 払 金	211,669,800		
そ の 他 流 動 資 産	2		
資 産 合 計	166,001,007,127		

『お金の使い道』

集めたお金が、「どのような状態」で「どれだけ」あるかが分かります。

『お金の集め方』

企業が資産を獲得するためのお金を、「どうやって」集めたかが分かります。

負債は、企業債(借金)など、他者に返さないといけないお金だよ。



繰延収益は、下水道管の建設などにもらった補助金など、返す必要のないお金だよ。



資本は、資本金や事業で獲得してきた利益などのお金だよ。

5 財務三表の解説③

令和6年度岡崎市下水道事業キャッシュ・フロー計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

【図解】キャッシュ・フロー計算書(決算書P96～97)

キャッシュ・フロー計算書は、対象年度中の現金の増減とその理由を表す報告書です。

★キャッシュ・フロー計算書から分かること
損益計算書、貸借対照表からは読み取りにくい、「1年間の現金の流れ」をその理由と合わせて知ることができます。

★注目ポイント

①現金を増やすことはできたか？

まずは現金が増えているか、減っているかを確認します。
その後で各キャッシュ・フローを見ると、なぜそうなったのか？が分かります。

②「業務活動によるキャッシュ・フロー」はプラスか？

下水道事業を続けるためには、本来の営業活動で得たお金(下水道使用料)で、下水道管等の維持管理・更新をしていく必要があります。
そのためには、必ずプラスにならなければなりません。

③「投資活動によるキャッシュ・フロー」はどれくらいマイナスか？

現在、多くの下水道施設が更新期を迎えており、多額の更新費用が必要です。施設の更新をすれば、必ずマイナスとなりますが、その規模が重要です。

④「財務活動によるキャッシュ・フロー」はプラスかマイナスか？

下水道事業では、下水道使用料に加えて、お金を借りて施設の更新を行っています。
借入と返済による資金の増減を表し、借りた金額よりも返す金額が多ければマイナスに、借りた金額が返す金額よりも多ければプラスになります。

キャッシュ・フロー計算書の読み方の例

	業務活動	投資活動	財務活動	概要
パターン1	プラス	マイナス(Δ)	マイナス(Δ)	本業の業績は概ね良好であり、有利子負債残高を減少させつつ建設改良に係る投資も実施しているため、比較的良好な経営状態にあると考えられる。
パターン2	プラス	マイナス(Δ)	プラス	本業の業績は概ね良好であるが、建設改良に係る投資財源を有利子負債に依存し、かつその残高が増加しているため、今後の返済負担増加が想定される。
パターン3	マイナス(Δ)	マイナス(Δ)	プラス	本業の業績が厳しく、建設改良に係る投資財源に加え、日常の運転資金も有利子負債に依存している可能性があるなど、資金繰りが非常にタイトになっていると想定される。

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	Δ 153,337,163
減価償却費	5,469,204,107
固定資産除却費	23,052,607
退職給付引当金の増減額(Δは減少)	31,816,578
賞与等引当金の増減額(Δは減少)	3,176,000
貸倒引当金の増減額(Δは減少)	Δ 91,005
長期前受金戻入額	Δ 1,993,608,883
受取利息及び受取配当金	Δ 966,252
支払利息	878,436,159
未収金の増減額(Δは増加)	80,977,385
未払金の増減額(Δは減少)	Δ 50,091,284
前払金の増減額(Δは増加)	387,502,200
その他流動負債の増減額(Δは減少)	51,147,102
小計	4,727,217,551
利息及び配当金の受取額	966,252
利息の支払額	Δ 1,030,334,543
業務活動によるキャッシュ・フロー	3,697,849,260

下水道事業本来の営業活動で資金を稼げているか？を表しているよ。



2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	Δ 5,731,399,550
有形固定資産の売却による収入	28,811,376
無形固定資産の取得による支出	Δ 123,921,535
長期貸付金の貸付による収入	Δ 2,020,000
短期貸付金の償還による収入	2,520,750
工事負担金による収入	33,735,590
他会計負担金による収入	47,741,637
受益者負担金による収入	67,609,910
国庫補助金による収入	1,811,367,947
県補助金による収入	114,059,409
投資活動によるキャッシュ・フロー	Δ 3,751,494,466

施設の更新等、設備投資にどれだけ資金を使ったか？を表しているよ。



3 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	4,182,900,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	Δ 5,193,880,780
一般会計からの出資による収入	109,800,000
リース債務の返済による支出	Δ 81,543
財務活動によるキャッシュ・フロー	Δ 901,262,323
資金増加額(又は減少額)	Δ 954,907,529
資金期首残高	4,607,903,247
資金期末残高	3,652,995,718

借入と返済のどちらを多くしたか？を表しているよ。



よくわかる決算書 用語解説

あ

- 維持管理費**…………… 汚水の処理にかかる費用、施設の維持管理に係る費用、
その他事業の一般管理に要する費用等、
汚水を継続的に処理するためにかかる経費のこと。
- 雨水(うすい)**…………… 雨水(あまみず)のこと。
- 汚水(おすい)**…………… 家庭や工場などから排水される、汚れた水のこと。
- 汚水処理原価**…………… 下水道使用料収入の対象になった汚水1 m³あたりにかかった汚水処理費用。
- 【算出方法】
汚水処理費(維持管理費・資本費)÷有収水量

か

- 管渠老朽化率**…………… 現在整備されている下水道管のうち、法で定められている使用期間(法定耐用年数)を過ぎた管の割合を表す指標。
ただ、管の更新は実際に使用する年数を基に行っているため、老朽化率が高い状態が必ずしも更新が遅れている状態というわけではない。
- 【算出方法】
法定耐用年数を経過した管渠延長÷下水道布設延長×100
- 勘定**…………… 取引が行われるつど、資産・負債・資本・収益・費用の5つの要素を用いて記録する。
それらの要素を勘定という。
また、例えば資産勘定の中でも、現金や普通預金、建物など中身は細かく分けられる。これらは勘定科目という。
- キャッシュ・フロー計算書**… 現金の増減に関する情報を表示する報告書のこと。(P17 参照)

経常収支比率…… 経常的な収益で経常的な費用をどれくらいまかなえているかを示す指標。
財政構造の健全性を表す。

【算出方法】

経常収益÷経常費用×100

公営企業会計…… 官公庁特有の方式である「一般会計」に対して、民間企業と似た方式をとる会計制度のこと。下記の2つの大きな特徴がある。

- ① 発生主義
現金取引の有無に関わらず、経済活動の発生を記帳のタイミングと考える。
- ② 複式簿記
一般企業(株式会社など)と同様の記帳方法。

正確な経済状態の把握が可能になるメリットがある。

さ

資本的収支…… 収益には関係ない、資本や負債に関わるお金の流れ。例えば、資産となりうる建物・施設の建設や、企業債の元金償還などが資本的収支に含まれる。
資本的収支は、公営企業会計では4条と呼ばれている。

資本費…… 下水道施設を整備するために必要な費用のこと。
維持管理費が施設を運転して下水処理を行うことにかかる費用(ランニングコスト)であるのに対し、資本費は下水道施設の整備にかかる費用(イニシャルコスト)であると言える。

収益的収支…… 経営活動に伴って発生する全ての収益と費用を表す。
下水道事業でいうと、下水道使用料や維持管理費などがこれに含まれる。
収益的収支は、公営企業会計では3条と呼ばれている。

受益者負担金…… 新しく下水道を整備した際、その地区に土地を持っている人に建設費の一部を負担していただくもの。

損益計算書…… ある一定期間における企業の経営成績を表示する報告書のこと。(P15 参照)

た

貸借対照表…………… 年度末時点における企業の財政状況を表示する報告書のこと。(P16 参照)

長期前受金戻入… 財源を耐用年数に応じて少しずつ収益にしていく仕組みのこと。
施設等を建設するときには、国や県から補助金を貰ったり、一部を市民の方に負担していただいたりしている。これらは施設を建設する年にまとめて貰うが、損益計算書には“1年間にかけた費用と収益を載せる”という決まりがあるため、減価償却と同様に、その施設が使える年数に合わせてそれぞれの年に収益を分ける必要がある。

は

引当金…………… 将来発生する費用や損失に備えるために、あらかじめ準備しておくもの。
貸倒引当金や賞与引当金など、様々な勘定科目がある。

負債…………… 企業債や未払金等の借金のような、返す義務のあるもの。
返さなければならない期限が1年未満か1年以上かによって、流動負債と固定負債に分けられる。

補てん財源…………… 今までに生じた利益や、費用化されるが当年度現金を支払う必要のない減価償却費などが「補てん財源」として管理される。

資本的収入よりも資本的支出の方が大きい場合は、この「補てん財源」で補てんしなければならない。
その理由は、資金的な裏付けがあることを確認し、企業がその事業規模を逸脱して拡大・拡張していないかを確認するためである。

や

有収水量…………… 処理した汚水のうち、下水道使用料収入の対象となる水量のこと。

ら

- 流動資産**…………… 1年以内など、比較的短い期間で現金にすることができる資産のこと。現金や普通預金、未収金、短期貸付金などがある。
- 流動負債**…………… 企業の本業に関わって生じた支払債務や、1年以内に支払わなければならない債務のこと。



岡崎市下水道マンホールふた新デザイン
「テケテケさん岡崎を歩く」